

令和元年度 第2回浜田市特別職報酬等審議会 会議録

日時 令和元年9月17日(火)
13時30分～14時50分
場所 浜田市役所5階
議会第4委員会室

[進行／人事課長、会長]

1 開会 (13時30分)	
人事課長	<p>ただいまより、第2回浜田市特別職報酬等審議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様方には、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>本日の出席者数であります。委員10人に対し、7人のご出席をいただいておりますので、審議会条例第5条第2項の規定である過半数以上の出席があり、この会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>まず資料の確認をしたいと思います。まず本日2種類の資料を配布しております。前回の会議で資料提供のご指示いただきました資料5-1から資料5-5までです。資料6については、合併以降4回行いました浜田市議会議員選挙に係る議員定数及び立候補者数について、本日追加資料としてお配りしています。前回の資料(資料2 令和元年度浜田市特別職報酬等審議会(冊子)、資料3 通年会期制等について(参考資料))をお持ちでない方は挙手をお願いします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、樫山会長様、一言お願いいたします。</p>
樫山会長	<p>皆さん、ご出席ご苦勞様でございます。前回の議論では、基本的には、まず資料の説明をいただきました。今日は、その資料をどう読み解くか、今後どのような方向で議論に入っていくか、皆さんの活発なご意見を期待しています。</p> <p>前回も申しましたが、「安ければ、安い方がよい。」もしくは、「どうせ働いてもらうなら、働いてもらうだけのお金を払う方がよい。」という2つの議論の方向性があると思います。それでは、活発な意見をお願いします。</p> <p>原則審議会は「公開」とされております。特別な事情がない限り「公開」をするということでございます。今日は、報酬などの話も出てきますが、今日は、傍聴人の申請がございます。傍聴人がいらっしゃいますので、この会議を「公開」とするかどうか、皆様の意見をいただきたいところでございます。原則「公開」でございますので、「公開としてはまずい」という意見がございましたら、言っていただけますか。</p>
	(意見なし)
樫山会長	ないようですので、基本的には「公開」ということでさせていただきます。
人事課長	ありがとうございました。これより議事進行は、樫山会長にお願いします。
樫山会長	それでは、まずは事務局から前回資料提供を求めた案件に係る説明をお願いします。

給与係長	私の方から、本日お手元にお配りしました資料の説明をさせていただきます。 (資料5・資料6の資料の内容について説明)
樋山会長	事務局からの説明に対して質問はございますか。
樋山会長	資料については、過去の審議会でもそうでしたが、島根県・鳥取県との比較はしていません。同じ規模の市町との比較はしていないため、実際に人口の似た市との比較を出してもらったものです。
	(質問等なし)
2 協議事項	
(1) 議員の報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額並びに政務活動費の額等について	
樋山会長	<p>それでは、議題に移りたいと思います。「議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額並びに政務活動費の額等について」です。皆さんから意見はございますか。</p> <p>この報酬審議会で審議するものは、基本的には、月額の問題もあれば、加算率の問題もあります。政務活動費についても過去議論したことがあります。広い範囲で何かご議論ございませんか。</p>
委員	<p>私の意見としては、なぜ、政務調査費の対象経費として、議員の議会報告などの印刷費、配布費が入っていないのかということです。</p> <p>議員としては、有権者に自分のやっていることを知らせることも大事な仕事だと思うところです。</p>
議会事務局次長	平成24年の地方自治法改正により政務活動費という名前に変わっていますが、使途については、条例、施行規則、細則などによって整理しています。浜田市議会では、年間10万円と少ないこともあり、他の市議会にあるような議会活動報告書等の印刷費は認めておりません。ただ、事務的なコピー代などは認めているところです。
委員	議員活動の中で、議会報告だとか、印刷配布、そういったものがかなりのウェイトを占めるという話を聞いたことがありますが、なぜそういった縛りがあるのかという気がします。
委員	<p>傍聴人に聞いてもよろしいですか。</p> <p>議員活動報告は、1回印刷するのにどれくらいかかりますか。</p>
傍聴人	私は、A4裏表のカラーで1,000枚、手で配るので印刷代だけですが、ネットで印刷を頼んで、1回5,000円以下。年4回ほど議会の後に作っているため、年間2万円程度です。
委員	政務活動費の支給実績が10万円に達していない人がおられますが、こういった印刷等についても対象経費になれば、もっと増えるということでしょうか。
傍聴人	そうだと思います。
委員	議員報酬だけでなく、政務活動費についても解決した方がよいのではないのでしょうか。こういった報告書は、市民にとってもありがたいものなので認めてあげていただきたいと思います。この場で言うことかどうかは分かりませんが。

樫山会長	政務活動費をあげるといふ答申になった場合、使途についての付帯意見を付けて出しても構わないと思います。
委員	使途の条件的なものは、他市町村も同様なのでしょうか。
議会事務局次長	こういった印刷費等が認められている他市町村もあります。ただ、理由は分かりませんが、浜田市においては、個人の活動の印刷費は認めないと決められた経緯があります。
総務部長	なぜ支出の対象外としたのか、このメンバーでは分からないため、当初のいきさつを確認して回答させていただきたいと思います。
委員	この活動費の内容を決められたのは、議員の方でしょうか。
議会事務局次長	そうです。
委員	議員の年収について、東京や大阪など都市部は、浜田市より高くなっているところもありますが、それらを除くと浜田市もそんなに安くもないと思います。
委員	一概には言えないと思いますが、極端に低いとは言えないと思います。
委員	報酬にしても、給料にしても、市の収入に対してどれだけかという比較がないと分かりません。例えば、多い市は莫大収入があるかもしれませんし、少ないところは、収入がないから仕方なく少ないのかもしれません。面積ではなく、総収入がいくらあるのか、人件費に何パーセント使っているのか分からないと、多い少ないという話はできません。 もうひとつ、議員の人数や議員の一人当たりの年収等は出ていますが、市として20人の議員がいるところと、浜田市のように24人いるところでは、一人当たりの金額は少ないですが、市としての支出はほかの市より多くなります。 以前「市長・議長と語る会」があった際、「他市と同じように議員の数を減らして、その減った分他の議員の給料を上げてください」と話をしたことがあります。私は、議員にしても市長にしても給料をしっかりと出してあげてほしいと思います。しっかりと出して、しっかりと働いてもらえば、街が活性化していくと私は思っています。
樫山会長	この資料で各議員定数が出ていますが、次回でよいので、議員数で総額を出していただきたいと思います。
人事課長	次回資料提供します。
樫山会長	前回、議会の方で今後議員定数の議論も行われるというようなことも言われていましたが、ここで議員報酬を上げるから議員定数を減らせといふ答申が可能かどうかというのは疑問ですが、先ほど委員が言われたような意識は皆さんあると思います。
総務部長	「市長・議長と語る会」には、議長も同席しておられ、その話は直接聞いておられます。 議会の内部でも、毎回任期のうちに定数がどうかという議論はされるので、報

	<p>酬審議会の答申を受けて議会でも議員定数の議論はされるものと思います。</p>
<p>樫山会長</p>	<p>皆さん、ご意見をお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>基準が前年比、あるいは人口が似かよった類似団体という基準しかないので、民間の立場からすると、1年間なら1年間、成果をあげたことを毎月報告したり、議員の中には、「私は1年間、公約したものに対して行動を起こし、改善点はこうです。」というような形で出される議員もおられます。</p> <p>そういったことで評価されて、毎年報酬が決まっていけばよいのですが、成果については、空き家対策や医療や子育て、福祉など、それぞれ公約されているものに対して評価し、所得が上がっていくというのが当たり前なので、決まった期間の報酬を先に決めるには基準がなく、非常に困っているのが正直なところです。</p> <p>ただ、やる気があって、浜田をよくされたい方、前年対比それぞれのカテゴリーで成果が出ているのであれば、報酬は上げていくべきだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私の所属する団体は成果という面で、歩合制です。利益があった分だけ給料がもらえるという成果主義のため、それを持ってくることはできませんが、行財政改革を前の市長からやられて、職員も減り、そういう意味では成果が出てきているのではないかと思います。</p> <p>市長はかなり激務だと思うので、他との比較はあるが、多くもらわれてもよいのではないかと思います。</p> <p>議員については、定数の兼ね合いもありますが、若い人にも魅力的というか、自分でも議員をやってみたいという議員活動、そのためにはある程度の報酬はないと、魅力的な議員の身分が保証されないのではないかと思いますので、報酬を上げるとしたら、議員数を削減し、もっと活発に議員の選挙をしていただけるような報酬の決め方にしていってほしいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>まずは、財務というのが一番だと思います。その中での報酬という考え方です。</p> <p>若い方に浜田市のために議員になってみようと思ってもらうには、最低限の報酬がないと安心して地域のために活動が出来ないと思います。そこも考慮しながら決めていかなければいけないと思いますし、最終的には、人の数はどうなのかということも出てきますが、それはこの場での問題ではないということですが、最終的にはそういったことも関わってくると思います。</p> <p>また、市長、副市長等ですが、島根県西部の中核都市として、それに見合った、また活動に見合った報酬ということを考えていってほしいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>市長等は、仕事の内容などで石見の中核都市の代表として評価はしやすいと思いますが、議員の場合は、評価しにくいのが現実です。報酬だけ上げても、それに見合う活動をしていただけるか分からないし、もし頑張ったなら頑張っただけ報酬で応えられるというなら、政務活動費のようにチェックできる、目が届くような部分で考慮してあげればよいと思います。</p>

	<p>ただ、やみくもに報酬だけ上げて費用対効果があるかどうか分かりませんし、報酬だけ上げて、若い人が議員になる、ならないの判断基準になるとは思えないのですが。</p>
委員	<p>市長などは、県内をみて、ある程度のレベルの保証は必要だと思います。ただ、議員については、政務活動費を全額使っていない人も多く、議員活動を地道にきっちりされている方は、今の報酬では足りないと思います。ただ、年金をもらいながら議員をやっている方は、今の報酬で十分な気がしますし、若い方は、この額では生活が苦しい状況ではないかと思います。志はあっても、生活のために諦めざるをえないという方も中にはあるのではないかと考えます。どちらをとるかですが、それはこれからの議論の中で決まっていくと思います。</p>
委員	<p>お金ばかりではないですが、関心を持って議員に出たいと思っても生活ができないのではないかと思います。活動をすればするほどお金は出ていくのですから、それだけの収入を与えてあげないと難しい気がします。職場と兼務していればできますが、それだと職場を重視すると思います。</p> <p>市長、副市長等の報酬についても、出すものは出してしっかり働いてもらえばよいと思います。若い人でも生活ができると思えば、立候補すると思いますし、周りの人が応援して当選したとしても、この収入では生活できないと思います。</p>
樋山会長	<p>今皆さんから意見をいただいて、本当に活動できるような形にはしなければいけない、このままでよいとは皆さん言われてないかなと思います。ただ、上げるだけでなく、何らかの形のものが必要だろうということだと思います。</p>
委員	<p>議会事務局に確認ですが、議員の活動報告のようなものは何人くらい出されていますか。</p>
議会事務局次長	<p>政務活動費の対象になっていないため正確には把握していませんが、半分以上の方は出されているのではないかと思います。</p>
委員	<p>インターネットで印刷をすれば安いかもしれませんが、市内で印刷するとかなりの額になると思います。それは報酬の中から出されているということになるのでしょうか。やはり、そういった面は改善する必要があるのかなと思います。</p>
総務部長	<p>参考までに、現在の議員の年齢構成は、30代が1人、40代が2人、50代が4人、60代が16人、70代以上が1人。平均年齢61.2歳。最年少39歳、最年長73歳。今回は、以前よりは少し若返っています。</p>
委員	<p>浜田市は議員の定年はないのでしょうか。</p> <p>あるとすれば、議員が決めるのでしょうか。</p>
委員	<p>議員に定年はないでしょう。</p>
総務部長	<p>以前は、3期以上されると議員年金という公的年金が別にはありましたが、今はひとつになり一般の年金に集約されています。</p>
委員	<p>議員は、どこかの企業と兼務してなければ、基本国民年金だけですよね。</p>
総務部長	<p>そうです。</p>

委員	一人ひとり生活レベルが違うので、議員報酬は難しいですね。やはり、実際にきちんと議員活動をしているかどうかを見ていかなければいけないと思います。
委員	やはり、基本は専任でされる方のことを考えなければいけないと思います。兼任しなければ暮らしていけないのでは、若い人は出てきません。
委員	落ちたら終わりなので、報酬だけのために生涯をかけて出る人がいるかどうか。志がある人が出るもので、報酬目当てに出るとは思えません。
委員	それはそうですが、そこで背中を一押しできるかどうか。志がある人の背中を押せるようにしなければいけないと思います。
委員	客観的に、活動内容を評価できる基準があればよいと思います。
委員	最終的な評価は、選挙だと思います。評価するといっても、誰が評価するのか、何を評価するのか。
委員	政務活動費について、以前7万円から10万円に引き上げましたが、当時も今もですが、政務活動費はよく新聞沙汰になります。浜田のようにレシートで全部確認できるという体制をとっておかなければ、批判が出てきます。その辺を確保できれば、政務活動費を上げて、どんどん活動してくださいというのは、ひとつの方策かなと思います。
委員	政務活動費について、この額では足りないのが普通だと思います。悪いことをする人がいるから制限がかかっていくのですが、そこを精査する機関があり、浜田市のためにかかった費用については、領収書をもらって精査すればよいと思います。
委員	今は議会事務局がチェックしているのですか。
議会事務局次長	議会事務局がチェックをしますが、第三者機関にも確認してもらって透明性を高めようということで、市の監査委員にチェックしていただいています。
委員	市の監査委員とは。
総務部長	議員代表と識見者の2名です。
委員	議員の活動報告を見ると、市でどういった活動をしているかや、どう関わっているのかなどが書かれているため、公の費用でいいような気がします。
樋山会長	方向的には、政務活動費のある程度の増額という方向にきたと思いますが、金額的にはどうでしょうか。先ほどの話で、5,000円で印刷して、手で持って歩くという話がありましたが、その金額では低すぎるとは思います。
委員	支持者の顔を見て歩くというのもよいことだと思います。
総務部長	チラシがポストにたまに入っていますが、ほとんどの市議会議員は、自分で配布されていると思います。
委員	全市民へ向けてではないのですか。
委員	それは議員の考え方の問題ではないでしょうか。やはり自分の支持者の層を狙うと思います。

委員	ある程度の議会報告は、市でまとめてされているはずです。
委員	あれだけではだめだと思います。 そういう意味では、ケーブルテレビで議会中継をしていますから、あれを見ればよいという話になりますが、議員個々の姿勢の問題もあると思います。
委員	傍聴人へ質問してもよろしいでしょうか。 議員活動でお金がかかるものは何ですか。
傍聴人	まだ1期目で、勉強があるので外部へ研修に行きますが、滋賀県の研修所に2泊3日などに行くと3万円はかかります。自分の場合は、研修費が一番かかります。他には、あまりお金がかかることはしていませんが、今後、場所を借りて広聴活動をしようと思っています。その会場費等多少かかると思います。
委員	研修費に使いたいと言われましたが、平成30年度分の実績で見るとこれは何回分ですか。これはダメだと、対象外となったものはありませんか。
傍聴人	研修は2回分で、対象外となったものはありません。 書籍代は、年間購読すると高額になります。対象にならないので、年間購読していませんが、そこを認めてもらえると書籍代は必要です。
委員	本当にそういったことに使っていただけるのなら、数万円ではなく、それなりの金額を出すことも必要かなと思います。
委員	中期財政計画ではかなりよい数字になったということは聞いていますが、やはり人件費をどれだけ抑えるかということもいつも議論になっています。議員報酬を上げるとなると、市民感覚では納得していただけないこともあると思います。どれだけ活動していただけるかということになれば、ここでの議論ではないかもしれませんが、政務活動費を少なくとも上げていかなければ議員活動の保障が来ないということであれば、せめてこれは何とかしてあげたいと思います。
委員	私も思いは同じで、20万でも30万でもよいと思います。
委員	政務活動費を全額使っている人が少ないのは、使い勝手が悪いからですか。 政務活動費を上げるより、報酬を上げてもらった方がよいという話もありましたが。
委員	先ほどから話もありましたが、活動の評価というのはしにくいので、報酬を上げるより、政務活動費を手厚くした方が、皆さんが議員活動をがんばろうという気になるのかと思います。評価は誰もできませんよね。4年後の選挙でといっても、地域から1人しか出ていなければ、まあいれようかということになりますし、その評価ができないということなら、報酬を上げるより、政務活動費を上げた方がよいと思います。
総務部長	政務活動費の充実というのは重要なことで、今の対象経費であれば、皆さん増額されてもなかなか使えないということもあります。 先ほども言いましたが、こういった活動報告書の印刷経費がなぜ対象になっていなかったのか、それは可能なのかということをお調べさせていただいて、可能だということであれば、皆さんもう少し有効に使われるのではないかと思います。

	その辺のことを議会サイドで情報収集させていただきたいと思います。”
委員	それと、議員の方でこういったものを入れてもらえれば、もっと活動できるかどうか、そういったことも分かれば教えていただきたいと思います。
委員	松江や出雲は、45万、48万出ていて、これを使い切っておられるとすると、どういったものが対象で支出が認められているのかを参考に聞かせていただきたいです。単純に浜田の対象では、使い切れないのではないのでしょうか。
人事課長	支給対象の違いですね。調べてみます。
樫山会長	議員については、方向性が出てきたように思います。議論しておかなければいけないのは、市長、副市長、教育長についてですが、市長、副市長については、合併前に10%減額して、合併時にその10%減額したものを報酬としました。そして平成27年度に5%戻したという状況です。 大きく見劣りする数字でもないと言えますが、あれだけの激務に対して十分かと言われれば、十分ではないと個人的には思いますが、据え置きでもやむを得ないとも思います。
委員	市長、副市長、教育長については、気持ちとしては上げてあげたい気持ちもありますが、据え置きでよいのではないのでしょうか。
樫山会長	市長、副市長、教育長については、そういった考え方で、議員のことについても、政務活動費の増額の方で固まってきたかなと思います。あとは金額面をどうするか、どういった形のものにするかという議論を次回できればと思います。今後ますます活動、活躍の場を広げていただくことを助長する意味でも、それなりの金額の増額は必要だと思います。金額等については、次回にさせていただいて、その後で方向性を一つにまとめていきたいと思います。
総務部長	本日の審議において、議員報酬については総人件費の中で考えるべきとのご意見も頂戴したところですが、議員定数を減らす議論が今後議会サイドでされる予定であることを踏まえた上で、当審議会の中で改めて報酬月額についても議論いただいた方がよいと思います。政務活動費については、先ほど委員からありましたように年間の額を松江や出雲のレベルに引き上げたとしても、現在の支給対象のままでは議員としても使いづらい部分もあると思いますので。
人事課長	もうひとつ数字を示させていただいているのが、期末手当の加算率です。これも全体の人件費の年収ベースでみて、給与にかかるところなのかもしれませんが、県内他市の40%と比べると低い状況ですので、あわせて議論いただければと思います。
3 その他	
樫山会長	次回開催はどのような予定でしょうか。
人事課長	10月の日程意向調査を改めてさせていただきますので、よろしくお願ひします。決まり次第開催日等についてご案内いたします。 本日お配りした資料を含め次回もご持参ください。 最後に、総務部長よりご挨拶させていただきます。

総務部長	<p>本日は長時間ありがとうございました。市民目線で、いろいろな意見を出していただいたと感じましたので、しっかりご議論いただいたことを踏まえて、最終的にまとめていただきましたら、三役、議会に報告したいと思います。当初の予定では3回くらいとしていますが、限られた回数で、しっかりご議論いただき結論を出していただければと思います。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
------	--

(14時50分閉会、所要時間 1時間20分)